

知っておきたい！

防災 減災 知恵袋

Vol.9 電気火災に気をつけよう



寒い日が続く今日この頃、ご家庭で暖房器具を使って暖を取る機会も多いと思います。

電気を使う暖房器具は、見た目では火が見えないため、安全だと思われがちですが、実は電気ストーブ等の暖房器具での電気火災が毎年のように発生しています。

電気火災とは、電気や電気製品に関わる火災のことをいい、火災の原因として主に、維持管理方法や取扱い方法の不適が挙げられます。

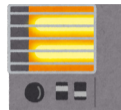
定期的に電気ストーブ周辺やコンセント部分の確認を行うなど、暖房器具の取扱いには十分注意しましょう。

問 防災安全課 内線 2134

～電気火災を防ぐポイント～

1. 電気ストーブ等のまわりに物を置かない

- ・布団とストーブが密着していない状態でも発火することがあるので注意！外出時や寝る前には必ずスイッチを「切」へ



2. 定期的に電源プラグ周辺の点検を！

- ・コンセント部分に溜まったホコリが湿気を帯び、発火することがあります。(トラッキング現象)
- ・電源プラグ周辺の点検、トラッキングの防止加工がされた電源タップの購入を検討しましょう。



3. リチウムイオン電池内蔵の製品に注意！

- ・モバイルバッテリーやスマートフォンなどに使用されているリチウムイオン電池から出火した事例が増えています。使用方法の確認、高い安全性を意味するPSEマークが表示された製品の購入を検討しましょう。

